

（令和4年度中実績・令和5年度評価）

■大項目にかかる評価

【評価点】
 S：特筆すべき進捗状況
 A：計画どおり
 B：おおむね計画どおり
 C：やや遅れている
 D：重大な改善事項あり

（参考：小項目の評価点）
 V：計画を大幅に上回って実施している
 IV：計画を上回って実施している
 III：計画を順調に実施している
 II：計画を十分実施できていない
 I：計画を大幅に下回っている。

【小項目評価（V～I）の大項目評価（S～D）への反映の考え方】
 ●小項目について、おおむねIIIの評価であれば、大項目はB評価を基本とする。
 ●大項目について、B以外の評価を行う場合は、小項目の評価でIV以上の高評価・II以下の低評価となっている項目について、中期目標に占めるウエイト等を考慮し、総合的に判断し、その理由を示す。

大項目	番号	内容	詳細（中期目標より）	市長評価（案）				評価委員会意見 （要旨）
				大項目		小項目		
				評価点	評価の理由	番号	評価	
1 住民に対して提供するサービスその他の業務の質の向上に関する事項	1	動物展示の充実と快適な園内環境の創出による動物園の魅力向上	<ul style="list-style-type: none"> ・多くの方に来園したいと思っていただけるよう、展示動物の充実により動物園の魅力を向上させるとともにその魅力発信を強化する。 ・再度来園したいと思っていただけるよう、快適な園内環境を創出する等、来園者満足度を高めるための園内サービスの充実を図る。 	A	<ul style="list-style-type: none"> ・JAZAの個体群管理計画に基づく種別管理で新たに3種の専門技術員を受嘱するなど、他園との信頼構築に努めた。 ・イベント数を増やすだけでなく、行動変容を促す取組を実施し、参加者からも行動変容につながる回答が見受けられる。 ・上記より、計画どおり進んでいることからA評価とする。 	1	III	
						2	IV	
						3	III	
						4	IV	
						5	III	
						6	III	
						7	III	
						8	III	
						9	III	
						10	III	
						11	III	
						12	III	
						13	III	
	2	動物の生態等に関する理解や関心を深めるための教育活動の推進	<ul style="list-style-type: none"> ・教育普及機能を強化し、飼育動物の生態のみならず、野生動物を取り巻く地球規模の環境問題も視野に教育普及活動を行い、来園者の行動変容に繋げる。 	B	<ul style="list-style-type: none"> ・4月にオープンしたふれんどしっぶガーデンにおいて、展示動物のQOL向上が図られるとともに、アンケート結果も来園者の満足度も損なうものではなかった。 ・教育普及アクションプログラムに基づき、ズースクールなど各種メニューを継続実施している。今後はボランティアクラブもより一層充実した取組を実施してほしい。 ・上記より、おおむね計画どおりであることからB評価とする。 	14	IV	
						15	III	
						16	III	
	3	動物福祉に配慮した飼育管理と高度な飼育技術の確立	<ul style="list-style-type: none"> ・動物園の主役である動物たちが健康で幸せに暮らせる環境を創出するために、飼育管理機能を強化する。 ・飼育技術を継承・高度化するとともに、世界に通用する飼育基準に適合した獣舎整備を推進する。 	A	<ul style="list-style-type: none"> ・昨年度より対象種を拡充するなど、環境エンリッチメント、ハズバンダリートレーニングを着実に継続実施し実績を上げており、中期目標で動物園経営における最重要事項としている「動物園の主役である動物が健康で幸せに暮らせる環境を創出する飼育管理機能の強化」が順調に行えている。 これは、独法化のメリットを活かした飼育人材の採用によるものでもあり、計画どおり進捗していることからA評価とする。 	17	III	
						18	IV	
						19	III	
						20	III	
						21	III	
						22	III	
	4	繁殖及び調査研究活動の推進	<ul style="list-style-type: none"> ・飼育動物の維持・充実とともに、生息域外保全という観点から種の保存に貢献するため、繁殖技術の向上を図る。 ・動物の生態に係る各種調査研究活動を推進することで国内外の動物園からの信頼を高める。 	A	<ul style="list-style-type: none"> ・クラウドファンディングで調達した資金を用いて爬虫類生態館（アイファー）を改修を行うなど、種の保全に貢献する繁殖活動の推進に向けて着実に実施できた。 ・新たに大学連携協定を締結できている。 ・上記より、計画どおり進捗していることから、A評価とする。 	23	III	
						24	III	
						25	IV	
						26	III	
						27	IV	
						28	III	
						29	III	
2 効率業務に運営する改善事項及び	1	自律的な組織経営	<ul style="list-style-type: none"> ・機動的な組織体制の構築 ・適材適所の柔軟な人事配置 	B	<ul style="list-style-type: none"> ・機動的な組織体制の構築に向けた取組を行っており、おおむね計画どおりであることから、B評価とする。 	30	III	
						31	III	
						32	III	
	2	人材の確保・育成と職員の能力向上・意欲喚起	<ul style="list-style-type: none"> ・人材の確保・育成 ・職員の能力向上と意欲喚起 	B	<ul style="list-style-type: none"> ・研修メニューの拡大にとどまらず、業務内容に応じた研修手法を選択するなど創意工夫がみられる。また、資格取得支援〔飼育技師（上級）2名合格〕でも成果がみられる。 ・引き続き人材育成面においてインセンティブが働く制度構築に取組が望まれる。 ・上記より、おおむね計画どおりであることから、B評価とする。 	33	III	
						34	III	
						35	III	
						36	III	
	3	効果的・効率的な業務執行	<ul style="list-style-type: none"> ・PDCAサイクルの確立 ・ICTの導入及び活用 	B	<ul style="list-style-type: none"> ・PDCAサイクルに基づいて各種制度を運用できている。 ・動物カルテシステムと飼育記録については統合運用が困難であることが判明し、連携できなかったが、別の枠組みによるプラットフォームの構築にも取組んでいる。 ・上記より、おおむね計画どおりであることから、B評価とする。 	37	III	
						38	III	
39						II		

大項目	番号	内容	詳細（中期目標より）	市長評価（案）				評価委員会意見 （要旨）	
				大項目		小項目			
				評価点	評価の理由	番号	評価		
3 財務内容の改善に関する事項	1	収入の確保	<ul style="list-style-type: none"> ・着実に入園料収入を確保する。 ・戦略的な渉外営業や魅力的なグッズ開発等の入園料外収入の確保に努める。 	B	<ul style="list-style-type: none"> ・前年度より入園料収入、入園料外収入いずれも増加しているものの、入園料外収入については一部目標値に届かなかった。 ・しかしながら、ファンクラブを維持、拡大するため渉外活動を行ったり、9月よりオンラインショップを開設するなど、収入確保の取組は一定程度評価できる。 ・今後はターゲットを明確にした上で、より大きな視点からファンドレイジング戦略を立て、さらなる取組を実施してほしい。 ・上記より、おおむね計画どおりであることから、B評価とする。 	40	IV		
					41	II			
						42	III		
						43	III		
						44	IV		
						45	IV		
	2	経費の節減	<ul style="list-style-type: none"> ・業務内容の精査により、経費節減に努める。 ・投資についても、経費の抑制に努める。 	B	<ul style="list-style-type: none"> ・法人化後の柔軟な契約手法を活かして獣舎リニューアル整備事業の契約を締結できるなど、経費の抑制に努めている。 ・上記より、おおむね計画どおりであることから、B評価とする。 	46	III		
						47	III		
4 その他業務運営に関する重要事項	1	内部統制の強化	<ul style="list-style-type: none"> ・法人が適切に業務を運営していくため、内部統制の確立・強化に必要な環境を整備する。 	B	<ul style="list-style-type: none"> ・昨年度より適切に実施しており、おおむね計画どおりであることから、B評価とする。 	48	III		
						49	III		
						50	III		
						51	III		
						52	III		
						53	III		
						54	III		
							55	III	
	2	来園者の安全確保	<ul style="list-style-type: none"> ・施設を適正に維持管理するとともに、計画的に施設の整備を推進する。 	B	<ul style="list-style-type: none"> ・リニューアル整備事業の実施に向け、来園者・飼育動物を含む全ての関係者に配慮した安全対策を講じており、おおむね計画どおりであることから、B評価とする。 	56	III		
						57	III		
						58	III		
							59	III	
	3	職員の安全衛生管理	<ul style="list-style-type: none"> ・安全対策の徹底と事故防止に努める。 ・職員が心身ともに健康を保持し、その能力を十分発揮できる職場環境づくりに努める。 	B	<ul style="list-style-type: none"> ・現時点ではおおむね計画どおりであることから、B評価とする。 	60	III		
	4	環境に配慮した取組の推進	<ul style="list-style-type: none"> ・環境に配慮した取組を推進する。 	B	<ul style="list-style-type: none"> ・現時点ではおおむね計画どおりであることから、B評価とする。 	61	III		
5	情報公開の推進	<ul style="list-style-type: none"> ・毎年の業務実績報告書等により情報公開を推進する。 	B	<ul style="list-style-type: none"> ・現時点ではおおむね計画どおりであることから、B評価とする。 	62	III			
6	BCPの策定	<ul style="list-style-type: none"> ・BCP（事業継続計画）を策定し、重大事故等の危機事象が発生した際の体制を構築する。 	B	<ul style="list-style-type: none"> ・現時点ではおおむね計画どおりであることから、B評価とする。 	63	III			

■全体評価

- 各項目の評価を踏まえ、記述式で評価。
- 年度計画の項目にはないが、中期目標の達成に資するものがあれば、ここで評価を行う。

【市長評価】

全体を通しておおむね計画どおりに進捗できている。
法人化以降特に力を入れてきた動物福祉に関する取組について、順調にその内容を拡大することができており、中期目標にある「国際社会に貢献し、世界に誇れる動物園」を目指し、園の信頼度向上につなげている。
獣舎整備等についてはクラウドファンディングによる新しい収入確保の取組を実施するなど工夫をしつつ、複数獣舎の一括発注により整備の効率化に努めたことにより、相乗的に動物福祉に貢献できている。
また、独法化したことのメリットを活かし、動物福祉等の専門知識を有する人材の採用を積極的に進めるとともに、クラウドファンディングや寄附等の財源を即時的に整備等に活用し、爬虫類生態館（アイファー）の整備を短期間で完了させたことは、動物福祉の取組推進とともに、計画の推進に大きく寄与していると言える。
今後も引き続き独法化したことによる効果を最大限に引き出しつつ、より効果的に入園者やファンクラブ会員を増やすことで収入の増加につなげていくなど、動物園の魅力向上につながる取組が進むことを期待する。

【評価委員会意見（要旨）】